



あい基金

女性が未来をつくる

「あい基金」 助成制度

2019 年度募集要項

(募集期間：2019 年 6 月 27 日～7 月 31 日)

主催：公益財団法人パブリックリソース財団

共催：一般社団法人 Women Help Women

公益財団法人パブリックリソース財団
2019年度 あい基金助成制度 募集要項

2019年6月27日

パブリックリソース財団では、女性が自らの意志で人生を選択できる社会をつくることを目指し、「あい基金」を2015年12月に設立しました。あい基金は、「地域をリードする女性を応援する」、日本初の女性のための草の根基金です。

2016年度より女性をめぐる社会のさまざまな課題の根本にあるものとして、女性の経済的・精神的自立の実現に着目し、基金創設後より助成事業を行っています。本年度も、東日本大震災の被災地において女性が中心となって取り組む、女性の生業の場づくりや地域づくりの活動を応援します。

< 1. 目的と概要 >

東日本大震災の被災地において、女性が中心となって取り組む事業には、日本のこれからの人口減少社会、高齢社会の地域づくりのモデルとなるような様々な取り組みが生まれています。

あい基金を通じて、これまでも、その土地ならではの資源や伝統を大切に、新たな視点をもって事業を展開している方々に出会ってきました。

本助成制度は、このような課題先進地である東北の被災地で、女性がいきいきと働く生業の場づくりや、女性が中心となって取り組む地域活性を通じて、地域の様々な課題の解決につながる事業を支援対象としています。また本助成制度は特に、設立からおおよそ5年以内の初期段階の団体を支援するものです。

< 2. 支援対象となる団体 >

- ・ 2011年以降に設立された法人で、東日本大震災の被災地に主たる事務所を置くもの（これから新たに活動をスタートする団体、任意団体は不可）
- ・ 支援対象の法人格不問。個人事業主も対象とします。
- ・ 分野を問わず何らかの事業を実施するなかで女性を中心に就業機会を提供している法人、または女性の就業促進を主たる目的としている団体

< 3. 支援内容 >

■支援団体数 1団体

■助成金

- ・ 1件1年間50万円。助成申請額は50万円を上限として記載してください。
- ・ 助成対象期間は2020年1月～12月とします。助成先の決定は2019年12月下旬を予定しています。
- ・ 単年度助成とします。
- ・ 例として、団体の基盤強化に結びつく事業に必要な費用、組織の強化に必要な費用、事業活動の強化、新規事業、既存事業の拡充・サービス向上のための費用などに使えます。
- ・ 原則として、助成金の使途に制限を設けません。

< 4. 支援対象の選定の視点 >

支援先を選定する際、下記のような点を重要視します。

団体について：

- ・ 明確なミッションと、ミッションに連動した事業があること
- ・ 成果の拡大に向けて、学び、改善、工夫、改革を継続する意欲があること

申請する活動について：

- ・ 地域の資源等を活用して、地域活性化につながる取り組み
例えば、小さな経済循環を生み出したり、若い世代の流入の呼び込みや定着の促進につながる等
- ・ 生業の場づくり等による、女性を中心とした居場所作り
- ・ 困難を克服するための新たな視点やテクノロジーの活用
例えば、地域資源や地域の伝統的技術の活用、持続可能な社会への貢献、地域間での人的交流や協働、グローバルな連携、IT の活用など
事業や活動を通じて、地域課題の解決につながる展開が期待されること

< 5. 応募書類 >

■ 応募書類は **2019年7月31日(水) 必着**で、i-kikin@public.or.jp まで電子メール添付でご送付ください。郵送の場合は、**7月30日(火)消印有効**です。(持ち込み不可)

■ 電子メールで応募の場合、件名に「あい基金助成の応募(団体名)」とご明記ください。

■ 応募に関してのお問い合わせは、件名に「あい基金助成の質問(団体名)」とご明記の上、i-kikin@public.or.jp までお送りください。

■ 詳細は、あい基金のウェブサイト www.public.or.jp/ifund をご覧ください。

※期日厳守のご応募をお待ちしております。

■ 送付先・お問い合わせ先：

〒104-0043 東京都中央区湊2-16-25-202

公益財団法人パブリックリソース財団「あい基金」 担当：黒木・原田

電話：03-5540-6256 Fax：03-5540-1030 E-mail：i-kikin@public.or.jp

< 6. 選考のプロセス >

① 専門家による審査委員会を設置し、書面による一次審査を行います。

審査委員会に先立ち、必要に応じて事務局による電話、メール等による確認をさせていただくことがあります。

② 一次審査を通過した団体には、11月9・10日にあい基金寄付者による現地訪問ならびにインタビューにご対応頂きます。現地訪問の日程は、一次審査通過後に事務局と調整をさせていただきます。現地訪問ならびにインタビューはおおよそ1時間程度を予定しております。

③ 応募書類ならびに、あい基金寄付者による現地訪問・インタビュー結果をもとに、審査委員会に

よる最終審査を行い、助成先対象を決定します（審査委員会は12月上旬開催予定）。

<7. 選考にあたっての重要事項>

あい基金では、2019年に新しい寄付者プログラムとして“あい基金ギビング・サークル”を創設しました。資金提供者である寄付者自身が、社会課題を学び、成長しながら、自ら支援先を選ぶプロセスに参画することをプログラムに盛り込んでいます。

あい基金は、女性支援に共感を持つ多くの個人寄付者によって成り立つ草の根基金です。寄付者もただ資金を提供するにとどまらず、現地で活動される方々とともに、社会を変える実感をもつことで、よりよい地域づくり、社会づくりの核なるネットワークを築く場となることを目指しております。そうした基金の取り組みをご理解頂いた上で、ご応募頂けますようお願い致します。

<8. スケジュール> ※ 変更する場合があります。

2019年

6月27日～7月31日	公募
8月中旬	審査委員会による一次審査（書面による審査）
9月上旬	一次審査結果通知
11月9、10日	あい基金寄付者による現地訪問・インタビュー
11月下旬	あい基金寄付者による助成先選定会議
12月上旬	審査委員会による最終審査
12月下旬	最終結果通知

2020年

1月下旬	新規助成団体への授与式・活動報告会
2月中	助成金振り込み (第1年度助成対象時期 2020年1月～12月)
5月	助成対象事業「中間報告①」提出 ※A4一枚程度、写真1～2枚
10月	助成対象事業「中間報告②」提出 ※A4一枚程度、写真1～2枚

2021年

1月末	事業対象事業「終了報告書」提出
-----	-----------------

※2019年11月9・10日のあい基金寄付者による現地訪問とインタビュー（1時間程度）の対応、ならびに2020年1月末の授与式（別途、日程調整）への出席（旅費は別途支給）は助成金受領のための必須条件とさせていただきます。

※また上記スケジュールとは別に、あい基金主催の活動報告会やイベントへの登壇をお願いさせて頂く場合があります。あい基金は、多くの個人寄付者で支えられている基金ですので、ご理解ならびにご協力をどうぞお願いいたします。

<9. 手続き等>

助成決定後、応募団体とパブリックリソース財団は「覚書」を取り交わし、所定の手続きを経て助成を開始します。

■助成金支払

助成手続き完了後 1 カ月以内に振り込みます。

■報告義務

助成開始後、5月と10月に「中間報告」を、活動終了後 1 カ月以内に「終了報告書」を提出いただきます。また、報告会等で活動報告していただく場合があります。

■情報公開

助成開始後に、組織概要や提出して頂く中間報告や終了報告書などから得られる情報を含む活動状況等をパブリックリソース財団の WEB サイト等にて情報公開します。

以上